

第1学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 〇校時

場 所 1年〇組教室

授業者 〇 〇 〇 〇

1 主題名 働くことの尊さや意義 「C-(13) 勤労」

2 ねらいと教材

(1) ねらい

勤労の尊さや意義についての理解を深め、社会における自らの役割や将来の生き方について考えようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

(2) 教材名

「新しいプライド」(東京書籍 新しい道徳1)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は、中学校学習指導要領特別の教科道徳、内容項目B-(13)「勤労」の「勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること」を受けている。

勤労は、人間生活を成立させる上で大変重要なものであり、一人一人がその尊さやその意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、社会生活の発展・向上に貢献することが求められている。中学校に入学して間もない時期には、将来の生き方について漠然としか想像できていない生徒や、将来の夢や希望を描けない生徒も少なくない。また、個人の好みや経済性を優先させ、勤労を通して社会貢献する中で得られる成就感や充実感にまで考えが及ばない生徒も多い。

キャリア教育と関連させて、職場体験活動やボランティア活動などの体験活動生かしながら、勤労の尊さを重んじる生き方を基に、社会における自らの役割や将来の生き方等についてしっかり考えさせることが大切であると考え、本主題を設定した。

(2) 生徒のこれまでの学習状況や実態

本学級の生徒は、係活動や委員会活動など、役割が決まっていることについては、自分の役割を意識して仕事に取り組むことができる生徒が多い。友達の仕事を進んでフォローしようとする気持ちを持っている生徒も多い。しかし、役割が決まっていない仕事については消極的な態度が見られたり、友達と一緒にあれば取り組めるが、自分一人では行動に移せなかったりするという面もある。

自分の将来の生き方については、学級の三分の二程度の生徒が、「スポーツ選手」「保育士」「建築士」など、将来の職業について具体的な希望を持っているという実態がある。

生徒は小学校高学年で、「働くことや社会に奉仕することの充実感」、「働くことの意義を理解し、公共のために役立つことをすること」について学習している。小学校までの指導内容をさらに発展させ、本時の学習では「勤労の尊さや意義」まで考えさせたい。また、勤労を通して社会貢献することが自らの喜びや充実感につながることに気付かせたい。さらに、「『看護する』仕事」の授業において扱う、

「勤労を通して社会貢献に伴う喜び」や「勤労を通して心から満足でき、生きがいのある人生実現しようとする意欲」について考えることにつなげたい。

(3) 使用する教材の特質

本教材は、新幹線の車両清掃員として働く女性の仕事に対する思いを通して、働くことの尊さや意義について考えさせることができる教材である。

主人公は 60 歳を過ぎて新幹線の車両清掃のパートを始める。掃除は嫌いではなかったが、家族が嫌がったこともあり、車両清掃の仕事をしていることを誰にも知られたくないと思っていた。しかし、実際に働いてみると、仲間同士のフォローやお客様への気遣いなど、ただ単に清掃をするだけの仕事ではないことが分かり、仲間との関わりも楽しく思えるようになった。そんなある日、親戚に仕事をしている姿を見られ、声を掛けられてしまう。自分ではやりがいを感じ始めていたが、世間ではそうは思わないと思い、恥ずかしさが湧いてきた。一週間後、その親戚から「あんなに立派な仕事をしているなんて思わなかった」という電話が来た。うれしくて何と返事をしたらいいのかわからなかった主人公は、翌年、正社員になる試験を受け、今日も駅のホームで働いているという話である。

主人公の仕事に取り組む姿を通して、働くことの尊さや意義に気付かせ、社会における自らの役割や将来の生き方について考えさせることができる教材であると言える。

(4) 指導観

本時の指導に当たっては、事前に生徒に教材を読ませ、内容を理解させておくことで、授業中の考える時間を確保する。農業体験学習や職場体験学習を控えているので、実際に行う体験学習をイメージさせることで、自分との関わりで考えさせ、人間としての生き方まで考えさせたい。

車両清掃の仕事を通して主人公が働くことの尊さや意義に気が付き、気持ちが変化していく場面に注目し、好みや経済性のためだけに働くのではなく、勤労を通して得られる成就感や充実感等、働くことの尊さや意義に気付かせた上で、働くことについて自分のこととして考えさせたい。

また、主人公が感じている、仕事のやりがいと人に知られたくない恥ずかしさの両方の気持ちから考えさせるための発問や、仕事の良さややりがいについて深く考えさせるための発問など、問い返しの発問を用意し、働くことについての多面的・多角的な考えを引き出すことを意識する。

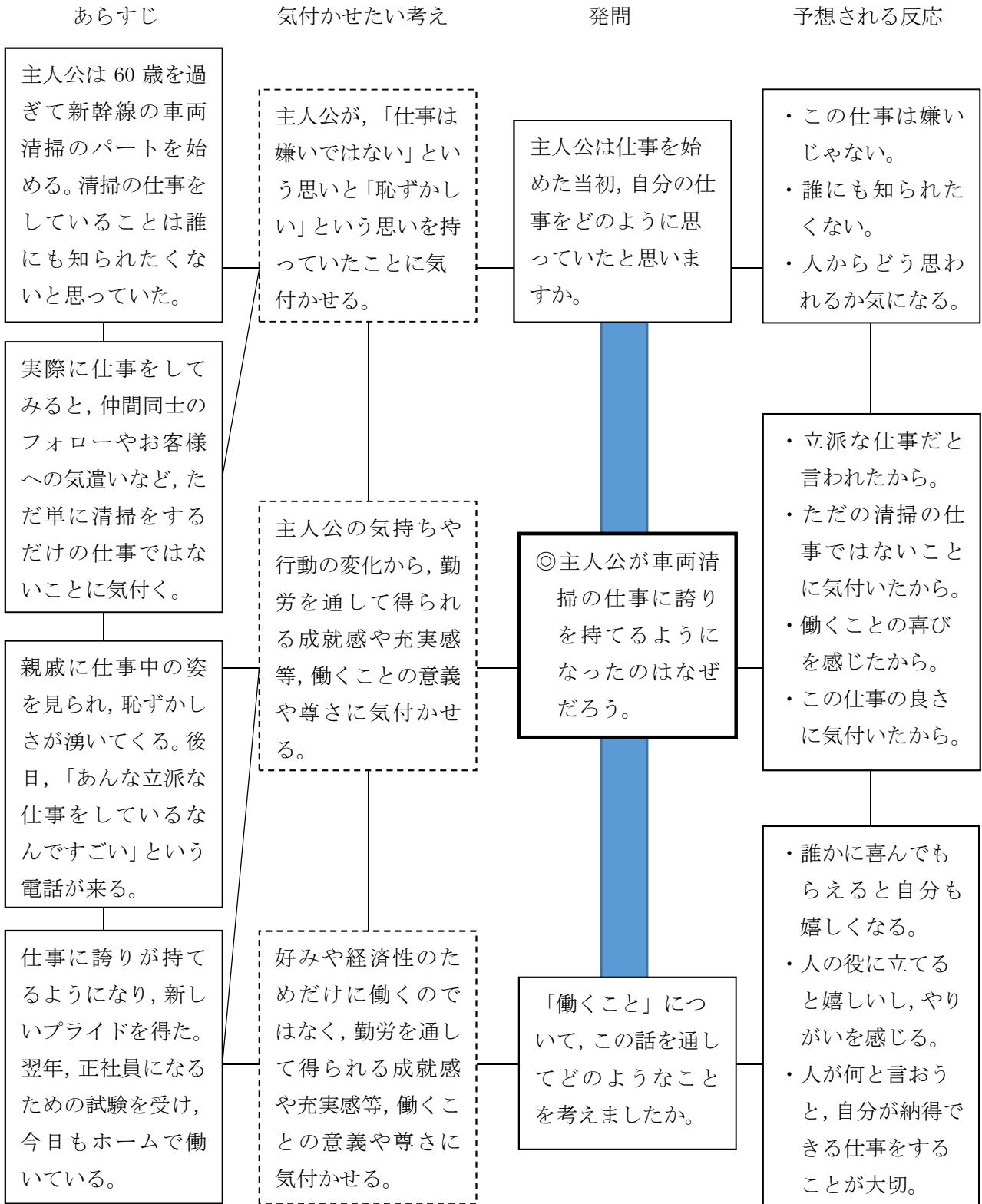
生徒の学習状況を見取るために、座席表、板書の記録、ワークシートを活用する。座席表は、意図的指名を行うために、机間指導で生徒の考えを把握する際に活用する。生徒の記述の内容を、例えば働くことの意義について、「人のために」「自分が納得するために」のように大まかに分類し、簡単な印や記号で書き込むようにする。板書の記録については、生徒の発言や思考の流れが分かる板書構造にし、授業後に写真を撮って振り返ることで、生徒の変容を見取る一助とするとともに、教師自身が授業を振り返る際にも活用する。ワークシートについては、授業の導入場面と終末場面で、「将来の仕事を考える時に、何を大切にしたいですか」という同じ発問をし、ワークシートに考えをまとめさせることで、本時の授業を通して考えたことや、生徒の変容を見取りたい。

4 教材分析・発問構成 . . . 別紙

5 学習指導過程 . . . 別紙

6 他の教育活動との関連 . . . 別紙

(別紙) 4 教材分析・発問構成



(別紙) 5 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 (◎中心的な発問) ●補助発問 ・生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。(一斉) 2 課題をつかむ。(一斉)	○将来、就きたい仕事があるという人はいますか。 ○将来の仕事を考える時に、何を大切にしたいですか。 ・自分が好きなことができる。 ・安定している。 ・給料が高い。 ・休みがちゃんとある。 ○もし、希望する仕事に就けなかったらどうしますか。 ・別の仕事で頑張る。 ・あきらめるかもしれない。	・挙手と教室の掲示物から確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">職場体験学習など、実際の体験学習をイメージさせ、本時の課題に対して問題意識を持たせる。 (問)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">将来の仕事について考えさせ、働くことについて自分との関わりで考えさせる。 (自)</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">働くことについて考えよう。</div>			
展開 35分	3 範読を聞き、主人公の気持ちの変化を捉える。(一斉) 4 仕事を始めた当初の主人公の気持ちについて考える。(一斉)	○主人公は仕事を始めた当初、自分の仕事をどのように思っていたと思いますか。 ・この仕事は嫌いじゃない。 ・誰にも知られたくない。 ・人からどう思われるか気になる。 ●どうしてこの仕事をしようと思ったのでしょうか。 ・何か仕事はしたいから。 ・掃除は嫌いじゃないから。 ●嫌いじゃない仕事なら、別に恥ずかしくないのではないですか。 ・家族が嫌がっている。 ・清掃の仕事にいい印象を持っていない人もいる。	・あらすじを簡単に説明してから範読を聞かせる。 ・主人公の仕事に対する気持ちが変わる場面に注目させて聞かせる。 ・意見の偏りが見られた場合、補助発問で、主人公の「仕事は嫌いではない」という思いと「恥ずかしい」という思いを持っていたことに気付かせる。

<p>展開 35分</p>	<p>5 車両清掃の仕事に誇りを持つようになった主人公の気持ちの変化について考える。 (個人 → ペア → 一斉)</p> <p>6 働くことの尊さや意義について考える。 (個人 → 一斉)</p>	<p>◎主人公が車両清掃の仕事に誇りを持つようになったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親戚の人に、立派な仕事だと言われたから。 ・ただの清掃の仕事ではないことに気付いたから。 ・働くことの喜びを感じたから。 ・自分のやっている仕事の良さに気付いたから。 <p>●パートから正社員になろうと思ったのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本気で仕事をしたかった。 ・続けたいと思ったから。 <p>●正社員にならなくても、同じ仕事はできたのではないですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正社員の方がやる気が出る。 ・責任が違ってくる。 <p>○働くことについて、この話を通して、どのようなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かに喜んでもらえると、自分も嬉しくなると分かった。 ・人の役に立てると嬉しいし、やりがいを感じると思う。 ・人が何と言おうと、自分が納得できる仕事をするのが大切だと思った。 <p>●今、みんなが考えたことを授業の最初に考えていたことと比べてみるとどうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金以外にも大事なことがたくさんあるということに気付いた。 ・働くのは自分のためだけではなく、人のためでもあるのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の気持ちや行動の変化から、勤労を通して得られる成就感や充実感等、働くことの意義や尊さに気付かせる。 <div data-bbox="1066 394 1430 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>否定的な立場から考えさせること、仕事のやりがいについて深く考えさせることで、様々な視点から働くことの意義や尊さに気付かせる。(多)</p> </div> <div data-bbox="1066 707 1430 967" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><評価> 様々な視点から働くことの意義や尊さに気付いていたか。(多)【ワークシート・観察・発言】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・好みや経済性のためだけに働くのではなく、勤労を通して得られる成就感や充実感等、働くことの意義や尊さに気付かせる。 <div data-bbox="1066 1406 1430 1702" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>働くことについて、気付いたことや感じたことを、授業の最初に考えていたことと比較させ、自分との関わりで考えさせる。(自)</p> </div>
-------------------	---	--	--

終 末 10 分	7 人間としての生き方について考える。 (個人 → 一斉)	○将来の仕事を考える時に、何を大切にしたいですか。 ○本時を振り返り、「働くこと」について考えたことを、自分の将来のことをイメージしながらまとめてみましょう。 ・お金を稼ぐことが1番の目的だと思っていたけど、働くことでお金以外に大切なことが得られるのだと思った。 ・自分の好きなことができる仕事ができたらいいけど、人のために役に立つ仕事も悪くないなと思った。 ・人から何を言われても、どう思われても、自分が納得できる仕事をしていれば続けていけるんだなと思った。	・導入と同じ発問をし、考え方の変化を振り返らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分の将来のことイメージしながら、働くことについて気付いたことや考えたことを書かせることで、人間としての生き方について考えを深めさせる。 (自) (生) </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <評価> 働くことや自らの役割や将来の生き方について、自分のこととして考えようとしていたか。(自) (生) 【観察・発言・ワークシート】 </div>
-------------------	----------------------------------	--	---

(問) : 問題意識を持たせる

(多) : 多面的・多角的に考えさせる

(自) : 自分との関わりで考えさせる

(生) : 人間としての生き方について考えさせる

【評価】

<生徒の評価>

・働くことや自らの役割や将来の生き方について、自分のこととして考えようとしていたか。

(自) (生) 【ワークシート・発言・観察】

・様々な視点から働くことの意義や尊さに気付いていたか。

(多) 【ワークシート・発言・板書】

<教師側の授業評価>

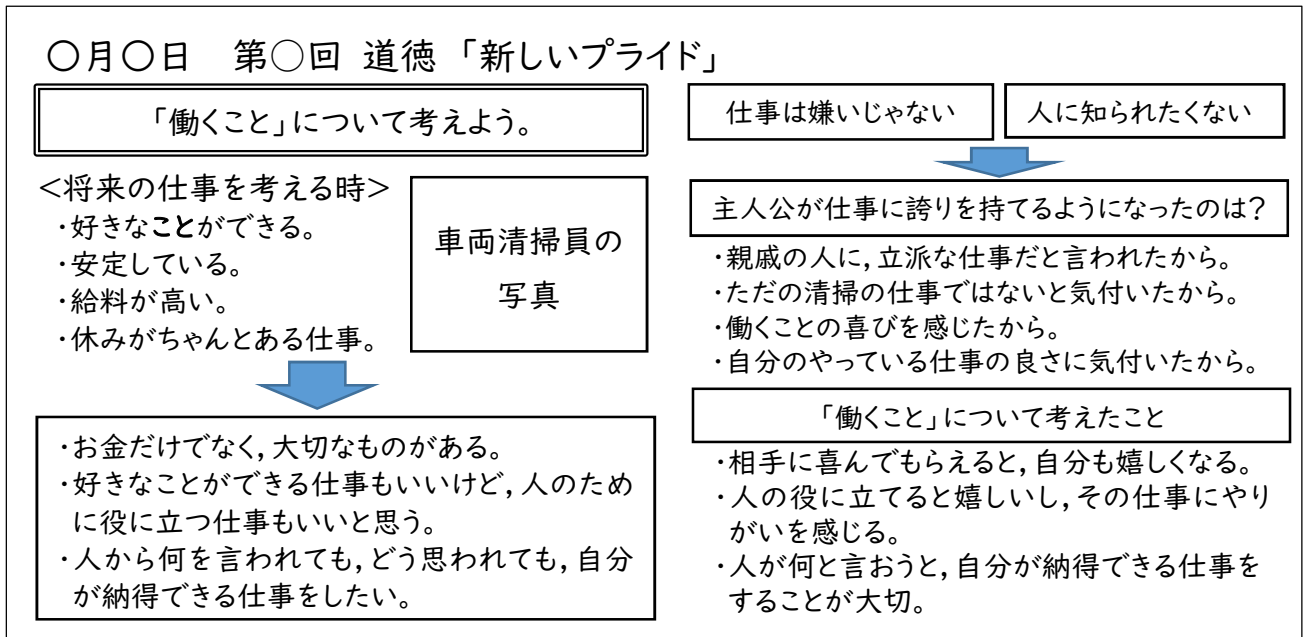
・働くことや自らの役割や将来の生き方について、自分との関わりで考えさせていたか。

(自) (生) 【ワークシート・発言・観察】

・発問や補助発問を通して、様々な視点から働くことの意義や尊さに気付かせていたか。

(多) 【ワークシート・発言・板書】

【板書】



【準備物】

- 教師：教科書、発問カード、ワークシート、車両清掃員の写真
生徒：教科書、筆記用具

(別紙) 6 他の教育活動との関連

